

令和7年度 第1回岐阜市自然環境保全推進委員会 議事録

日時：令和7年7月29日（火） 14時00分～15時40分

場所：岐阜市役所6階 6-1会議室

次第：1 あいさつ

2 委員長及び副委員長の選任について

3 諮問 岐阜市生物多様性プランの改定について

4 審議事項(1) 岐阜市生物多様性プランの改定について

(2) 検討・策定部会の設立について

(3) 2024年度生物多様性アクションプラン進捗状況及び点検・評価について

5 報告事項(1) 自然情報継続調査について

(2) 保全推進事業対象種の選定依頼について

6 その他

<資料>

- ・資料1 岐阜市生物多様性プランの改定について
- ・資料2 岐阜市自然環境保全推進委員会 検討・策定部会設置要領（案）
- ・資料3 2024年度生物多様性アクションプラン進捗状況及び点検・評価
- ・資料4 自然情報継続調査について
- ・資料5 岐阜市保全推進事業対象種 選定基準

出席委員：近藤慎一委員長、市來恭子副委員長、岡本朋子委員、雉野多賀男委員、
児島利治委員、下川五朗委員、瀬川典秀委員、塚本明日香委員、福井強志委員、
水崎貴久彦委員、渡邊益男委員

【14時00分 開会】

○事務局

只今から「令和7年度第1回岐阜市自然環境保全推進委員会」を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、環境保全課長の奥田と申します。よろしくお願いいたします。本日は、委員改選後の最初の会議となります。

本来ならば、委員の皆様お一人おひとりに、直接、辞令書をお渡しするのが本意ですが、お時間等の都合もございますので、あらかじめ、お手元にお配りさせていただいております。何卒、ご了承ください。ここで、お手元にお配りいたしました「委員名簿」に沿って、ご紹介いたします。

(1号委員から順に紹介)

なお、委員の任期は、令和9年7月15日までの約2年間となっております。委員の皆様には、この間、様々なご審議をいただきますが、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、環境部長の春日井よりごあいさつ申し上げます。

○環境部長

(挨拶)

○事務局

続きまして、本日の自然環境保全推進委員会の出席者数について報告します。

本日、委員 14 名中、出席者は 11 名で、過半数に達しておりますので、岐阜市自然環境保全推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定により本推進委員会は成立しておりますことをご報告します。

次に、本日の会議資料を確認させていただきます。

事前送付又は送信いたしました、資料 1、資料 2、資料 3、資料 4、資料 5 並びに、本日机上配布いたしました、次第、委員名簿兼座席表、岐阜市生物多様性プランの冊子及び岐阜市自然環境保全推進委員会規則です。皆様、資料はおそろいでしょうか。

不足がありましたら、お申し出ください。

それでは、「次第第 2 委員長及び副委員長の選任について」に移ります。

本委員会では、委員会規則第 4 条第 1 項の規定により、委員の互選により、委員長及び副委員長を置くこととなっております。

はじめに、委員長の選出はいかがいたしましょうか。

○委員

前期では、近藤委員に委員長を務めていただき、委員会の円滑な議事進行を進めていただきました。再度、近藤委員に委員長をお願いしてはいかがでしょうか。

○事務局

只今、委員長は近藤委員に、とのご提案がありました。皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声、拍手)

○事務局

ありがとうございました。皆様にご賛同いただきましたので、委員長は近藤委員にお願いしたいと存じます。近藤委員、よろしく願いいたします。続きまして、副委員長の選出はいかがいたしましょうか。

○委員

副委員長は、近藤委員長のご意向を確認してはいかがでしょうか。

○事務局

只今、近藤委員長のご意向を確認しては、とのご提案がありましたが、皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声、拍手)

○事務局

ありがとうございました。それでは、近藤委員長いかがでしょうか。

○委員長

私の意向といたしましては、前期において、私を補佐していただきました市来委員に、再度、副委員長をお願いできたらと思います。

○事務局

只今、近藤委員長より、副委員長は市来委員に、とのご提案がありました。皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声、拍手)

○事務局

皆様にご賛同いただきましたので、副委員長は市来委員にお願いしたいと存じます。
近藤委員長と市来副委員長は、前方の委員長席・副委員長席にそれぞれご移動ください。

(席の移動)

○事務局

それでは近藤委員長、あいさつをお願いいたします。

○委員長

(挨拶)

○事務局

続きまして、岐阜市生物多様性プランの改定に係る諮問でございます。

本市では、本年度、生物多様性地域戦略である岐阜市生物多様性プランの改定を予定しております。様々なご意見を頂戴するため、本委員会に対し、諮問をさせていただきます。

それでは、市長の代理である春日井部長から、本委員会の近藤委員長へ、諮問書をお渡しさせていただきます。近藤委員長、春日井部長、よろしくお願いいたします。

○環境部長

(諮問)

○事務局

本委員会の議長につきましては、委員会規則第5条第1項の規定により、委員長が議長となり

ますので、これからの議事進行は、近藤委員長お願いします。

○委員長

それでは、議事に入ります。本日の議事としまして、審議事項 3 件、報告事項 2 件を予定しております。委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただければと思います。

はじめに、「審議事項(1) 岐阜市生物多様性プランの改定について」、事務局より説明を求めます。

○事務局

(資料 1 に基づき説明)

○委員長

只今、事務局から説明がありました「岐阜市生物多様性プランの改定について」ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

○全委員

(意見なし)

○委員長

ないようですので、審議事項(1)については以上とします。

それでは、諮問がありましたとおり、今年度、岐阜市生物多様性プランの改定を本委員会として進めることといたします。

続きまして、「審議事項(2) 検討・策定部会の設立について」、事務局より説明を求めます。

○事務局

(資料 2 に基づき説明)

○委員長

只今、事務局から説明がありました「検討・策定部会の設立について」ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

○全委員

(意見なし)

○委員長

意見がありませんでしたので、今年度新たに「検討・策定部会」を設立し、生物多様性プランの改定等について調査審議することといたします。

ここで、新たな専門部会が設立された場合につきまして、専門部会員の選任をしたいと思います。

各専門部会の部会員は、委員会規則第 6 条第 2 項の規定により、委員長が指名することになっております。この規定に基づき、「検討・策定部会」に、楠田委員、児島委員、雉野委員、水崎委員、私、近藤を指名させていただきたいと思います。

この 5 人で、今後、岐阜市生物多様性プランの改定等について調査・審議する訳ですが、5 人共、生物多様性プランの策定に携わった経験がありません。そのため、設置要領第 7 条では、部会員以外の人出席を求めることができると規定されていることから、場合によっては、この規定に基づき、過去に生物多様性プラン策定に携わっていただいた方々に出席をお願いしたいと考えています。

○委員長

つづきまして、「審議事項（3）2024 年度生物多様性アクションプラン進捗状況及び点検・評価について」事務局より説明を求めます。

○事務局

（資料 3 に基づき説明）

○委員長

只今事務局から説明のありました「アクションプランの進捗状況」として、資料 3 の 7 ページから 11 ページの個別目標に係る取組内容やこの評価について、また、「アクションプランの点検・評価」として、6 ページのアクションプラン総括表の、(1)個別目標に示された 2024 年度の事務局の評価（◎、○、△など）について、ご意見、ご質問などがございましたら、ご発言をお願いいたします。

○副委員長

7、8 ページに取組の効果として、出前講座の回数が増えていること、シンポジウムに参加した高校生が実際に保全活動に参加した事例など書いてありますが、生きものに関心がある子どもたちに、熱心に環境教育を実施していただいた結果だと思います。講座の回数を増やしていただいたのは、素晴らしいと思います。

小中学校で出前講座をする際に、相手の学校はクラス単位か学年単位どちらでされるのでしょうか。

○事務局

基本的には学年単位になります。

例えば、水生生物調査は学年単位のため、多い時は 100 人から 120 人程参加していただいています。

○副委員長

これからも、講座を続けていただければと思います。

○委員長

その他ご意見よろしかったでしょうか。

○委員

8 ページの取組の効果として、自然環境保全活動団体が 1 団体増えたとありますが、どのような団体が増えたのか教えていただけますでしょうか。

○事務局

金華山を保全していた十時会は高齢化のため、令和 5 年度で解散したのですが、その十時会の方が指導者として「第 3 ブロック青少年育成市民会議」で、年 3 回、中学生のボランティアを募集して金華山の保全活動をしております。6 月の活動では、25 人の中学生が参加していました。その団体は、これまで毎年登山道整備をされていますので、自然環境保全活動団体への登録をお願いして、昨年度ご登録いただきました。

○委員

ありがとうございます。

○委員

個別目標 C1 のロードマップ指標に、「自然環境に関する調査を実施します」とあり、目標が実施で、取り組みも実施になっていますが、達成するのが簡単な目標に見えます。前のアクションプランの際にはレッドデータブックを作ることが目標でしたが、その後は、予算措置のために調査の実施を目標に入れているのでしょうか。次のアクションプランの目標を作る際の参考として教えてください。

○事務局

継続調査は、今後も継続していくことを目標としているため、指標に入れております。次期計画においても、調査が必要であることを記載してもらえれば、もちろん予算がいただける可能性は高くなるかと思います。

○委員

もう一点質問ですが、「自然を守る取り組みを実施している人を増やします」という指標がありますが、こちらはアンケート調査で実績値を出していますが、「自然を守る取り組みをしていますか」というアンケートだと、結果にばらつきが出ると思うのですが、どのようにアンケートを行っているのでしょうか。

○事務局

アンケートは、ぎふメディアコスモスの来場者の方に無作為に行っています。ご指摘のとおり、ばらつきはあるかと思いますが、シンポジウムなどのイベントでアンケートをすると、結果が高くなるのが考えられますので、今の方法で実施しています。ばらつきがでることについては非常に悩ましい点であるので、今後については、改めて考えたいと思います。

○委員

「自然を守る取り組み」というのが、どこからどこまでのことを指しているのでしょうか。自然を守るという言葉だけだと、「エコバックを使っています」なども入れているのでしょうか。

○事務局

アンケートについては、「自然を守る取り組みをしていますか」としか聞いていないため、どこからどこまでのようなことは聞いていないと思います。アンケートの質問をどのようにするかは、改めて検討が必要だと思います。

○委員

ありがとうございます。

○委員

漠然と「自然を守る取り組みをしていますか」と聞くと、答え方が難しいと思います。例えば、生きものがかわいそうなので、「外来種を外に放す」という行為が「自然を守る取り組み」であるという誤った認識の人もいると思います。なので、聞き方を見直していただく方が良いかと思います。選択をさせるような、もう少し具体性を持たせる質問をしていただく方が良いかと思います。

あと、A1の「理解を進める」というところで、子どもたちが興味を持っても、親御さんに興味がない場合もあるため、親の世代の意識を高めるような働きかけをする必要があると思います。親の意識を高めることが、子どもと保全活動に参加することに繋がると思います。小さい時から自然に興味を持たせることが担い手づくりに繋がるなら、その興味を持続させることも考える必要があると感じました。

もう一点は、先ほどの自然環境保全活動団体が1団体増えたことで、会員数が50人増えていますが、中学生の方が多いのでしょうか。参加している年齢層が気になりまして。

○事務局

増加した50人について、育成市民会議という地域の集まりの方になります。参加しているボランティアの中学生は会員ではありません。

○委員

なるほど。それでは、年齢層的には上の方が増えたということですね。例えば、この個別目標A1「理解を深める」として子供向けの活動を行っているが、B1「保全活動に参加する人を増やします」ロードマップ指標としては年齢層が上の方を調べているということでしょうか。

○委員

この増えた50人は、あくまで登録されている会員数であって、実際に活動に参加されたのは少人数のボランティアの中学生たちということで、会員数と参加人数がイコールではないということですね。

○委員

会員数が増えたことは良いことですが、実際参加した人数の方は減ってしまっている可能性もありますよね。会員数を評価することに乖離があるような感じがします。若い世代の中で参加し

ている人たちがいるのに、会員数で評価してしまうと、年齢層が高い世代を拾い上げているように感じるので、他の評価方法を考えた方が良いかと思います。

○委員

以前は、団体数で評価していたのですが、団体が統合したりすると減ったように感じたりするので、会員数で評価していると思います。

○委員

目標 B1 で、「広報を 8 回以上実施します」とありますが、2024 年度に 48 回まで増えているのはどうしてでしょうか。急激に増えているため、もし、SNS などのやり方が簡単になって、48 回くらい簡単にできるようになったのなら、目標値の 8 回は改定の際に検討した方が良いのかなと思います。

○事務局

昨年度から、達目洞や大洞などの保全活動に職員が参加した際に、ぎふネイチャーネットに活動を紹介するようにしました。その他にも、雉野委員にご協力いただき、ふれあいの森自然学校の散策会などもできる限り参加し、ぎふネイチャーネットに活動を紹介するようにしました。

○委員

ありがとうございます。

○副委員長

アンケートの取り方について、メディアコスモスの来場者に実施しているようですが、図書館にたくさん子どもたちがきておりますので、可能であれば、子どもたちの意見を聞いてみてはいかがでしょうか。

お母さんたちは忙しいので、図書館で自然や生きものの本を読んでいる子どもたちに、みんなが知らないようなお話をしていただければ、お母さんたちへ話をすると思いますので、「飼っていた生きものを外に放してはいけないんだよ」などと、子どもから親へ話した方が伝わり、担い手づくりに繋がると思います。メディアコスモスの図書館と連携して、子どもたちを育てていただきたいです。

○委員

5 月頃にメディアコスモスでヒトツバタゴの特集をするということで、協力いたしました。市来委員が言われたように、人の目に触れやすい所での啓発活動をやっていただくと良いかもしれません。

もう一つ気になったのが、子どもたちに教育するのはいいのですが、専門家として教える側の高齢化が気になります。市としての考え方を聞かせてください。

○事務局

高齢化につきましては、どこの団体でも非常に切実な課題ではありますが、地道に広報などの啓発をしていくしかないと思います。あと、達目洞は、大学生に来てもらっていますので、その中から少しでも自主的に参加してくれるといいなと思っています。

○委員長

ありがとうございます。担い手づくりというのは、本当に切実な問題ですね。教える側が高齢になり、次につなげたいのですが、年齢的に間が空いてしまっているのも、何とか埋める手段を話し合っ、良い方向へ進めていければ良いと思います。

○委員

1点目は、4, 5 ページのアクションプランの管理方法について、回数により定量的に管理されていますが、第三者から見ると、いつ、どの季節に実施したものか分かりにくいので、その辺りを記載してもらえると良いと思います。

2点目は、1年間の評価になっていますが、せめて半年に1回、チェックポイントをつくと良いと思います。チェックポイントが1年に1回だと、できていなかった場合に振り返りがつかなくなってしまう。もし、やっていたら、そのことを記載しておいていただくと分かり易いと思います。

○委員長

実際、年に一回公表していますが、チェックポイントはあるのでしょうか。

○事務局

こちらの資料は1年間分の報告内容となりますが、第2回の委員会で途中経過を報告できればと考えています。

○委員長

ありがとうございます。その他のご意見よろしかったでしょうか。

○全委員

(意見なし)

○委員長

ありがとうございます。講座に対する意見や活動団体の会員数に対するご意見、また、これまでよく議題に上がっておりますアンケート方法についてなど、なかなか良い答えが見つからないまま、ここまできております。他にも評価報告書の書き方などのご意見もいただいております。こうしたご意見を踏まえて、より良いものにしていけたらと思います。

2024年度の目標値につきまして、資料にもありますように、AからDまでの進捗状況について、順調に進んでおりますので、事務局案で良いかと思います。引き続き、頑張ってください、目標値の達成を継続していただけるようお願いいたします。

6 ページの(2)の全体評価について、委員会として意見を付す箇所がありますので、何かご意見ありますでしょうか。

○委員長

では、全体評価に記載する意見として、2024 年度の目標値はすべて達成されています。保全活動の周知等の促進も 2023 年度より改善が図られています。重点目標である「担い手づくり」についても各委員からも様々なご意見をいただいておりますが、現状、促進できていると思います。今後も市民による保全活動の周知、推進に取り組み、保全活動に取り組む担い手づくりを進めてほしいと考えております。

今の意見を基に、アクションプランの点検・評価をまとめていただき、事務局より改めて委員の皆さんに内容を確認するようにお願いします。

○委員長

審議事項については以上となります。続きまして報告事項として 2 件ございます。

まずは、「自然情報継続調査について」事務局より説明をお願いします。

○事務局

(資料 4 に基づき説明)

○委員長

ありがとうございます。ただ今の報告について、ご意見、ご質問等ありましたら発言をお願いします。

○全委員

(意見なし)

○委員長

意見はないようですので、続きまして報告事項「(2) 保全推進事業対象種の選定依頼について」事務局より説明をお願いします。

○事務局

(資料 5 に基づき説明)

○委員長

ありがとうございます。ただ今の報告について、ご意見、ご質問等ありましたら発言をお願いします。

○全委員

(意見なし)

○委員長

保全推進事業対象種につきましては、候補がある程度集まりましたら委員の皆さんの意見を伺いたいと考えております。

以上で本日の議事はすべて終了しました。事務局は本日の議事を取りまとめのうえ、議事録の送付をお願いします。

続きまして、次第6「その他」に移ります。事務局より連絡事項等ありましたらお願いします。

○事務局

本年度の委員会のスケジュールにつきまして、来月、8月末頃に第1回策定・検討部会の開催を予定しております。開催日が決まり次第、部会員の皆様にご案内しますので、ご出席のほどお願いいたします。策定・検討部会は今年度3回開催する予定です。

また、本委員会の第2回目は、生物多様性プラン改定のパブリックコメントの準備が整いましたら開催する予定です。

本年度の生物多様性シンポジウムは8月3日（日）にぎふメディアコスモスにて「楽しい昆虫採集のすすめ」を開催する予定です。シンポジウムでは名和昆虫博物館の名和館長を講師としてお招きし、昆虫について講演していただきます。その他、岐阜高校の自然科学部生物班の皆さんにも発表していただく予定です。事務局からは以上です。

○委員長

ありがとうございます。その他委員の皆様から報告等ありますでしょうか。

それでは閉会の言葉を市来副委員長お願いします。

○副委員長

本日は議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和7年度第1回岐阜市自然環境保全推進委員会を終了します。ありがとうございました。

○事務局

ありがとうございました。

【15時40分 閉会】